



国際交流活動 in まつうら

チルドレンズデーイベント
Children's Day Event
 (子どもの日イベント in マッカイ)



①



③



②



④

①②③文化体験コーナー
 ④松浦から贈ったプレゼント

姉妹都市マッカイ市において、日本の子どもの日をお祝いするイベント「Children's Day Event」が5月8日(土)に開催されました。

イベントには60人の参加があり、マッカイ市内の学生や教師、シスター・シティーズ・マッカイ(マッカイ市で姉妹都市交流を支えているグループ)のメンバーがボランティアスタッフとして活躍しました。会場には、浴衣やはっぴの試着体験、けん玉体験、折り紙を使った兜作りなど9つのコーナーが設けられ、日本文化を楽しく学ぶ機会となりました。

また、今回のイベント開催に合わせ、松浦市国際親善協会からマッカイ市へ贈ったお菓子、しおり、有志により作成されたバナー(小旗が連なった装飾品)も会場に花を添えていました。



頑張ろうとする君へ。松浦から、エールを。



松浦市内の企業紹介 Vol.3

問 地域経済活性化課 内線 242

「もの言わぬ ものがもの言う ものづくり」

株式会社エミネントスラックス

創業年 昭和35年3月
 所 在 松浦市志佐町浦免1676-2
 従業員数 176人

従業員インタビュー

石井 美和さん
 (縫製グループ)

松浦高校を卒業後、ファッションについて勉強したいと思い、この会社に就職しました。



私が担当するベルトループを縫い付ける工程のほか、前後の工程の仕事も覚えています。複数の工程を覚えることで、子育てや家事で忙しい女性が多い職場でも、従業員どうし助けあいながら働くことができます。

高品質のスラックスを作りながら、これから子育て世代となる若い従業員を助けられるよう、温かい職場環境を作っていきたいです。

株式会社エミネントスラックスは、年間約21万本のスラックスを製造しております。そのほとんどが、国内有数のアパレル企業から受託したもので、技術力の高さを評価していただいています。

また、メイドイン長崎のスーツブランド「WESTORY」のスラックスも製造しており独自ブランドとして展開しているところです。

同社の従業員は全員地元から採用。その9割を女性が占めています。女性視点の意見やアイデアを多く取り入れ、働きやすい環境の整備に努めるなど従業員の満足度アップを目指しています。

そのほかにも、SDGsの一環として、松浦高校や長崎県立大学の学生とともにハギレを使ったマスクの製作や抗菌抗ウイルス溶剤噴霧による衣料・マスクの製造なども行っています。

市役所からのお知らせ

7月は「愛の血液助け
合い運動」月間です。

問 健康ほけん課健康推進係

☎内線168

人間の生命を維持するの
に欠かすことのできない血
液は、人工的に造ることが
できません。

毎年、7月から8月（夏
季）は長期休暇などで献血
のご協力が得にくい時期で
す。しかし輸血用の血液は
年間を通して安定的な確保
が必要です。

献血は皆さんの善意に
よって支えられており、そ
の気持ちが高い命を救って
います。

献血は献血バスや献血
ルームで実施しています。

皆様のご協力をよろし
くお願いします。



令和3年度地籍調査

問 建設課国土調査係

☎内線250

松浦市では国土調査法に
基づき、地籍調査を実施し
ています。

【調査対象地区】

本年度は、志佐町高野免
および御厨町田原免と御厨
町相坂免の一部について、
現地調査を実施します。

【調査について】

一筆ごとに現地と法務局
の字図を照らし合せなが
ら、土地の境界や地番、地
目などの調査を行います。
その際、土地所有者に境界
立会いをお願いし、境界杭
を設置します。

また、必要に応じて分筆、
合筆、地目変更などの聞き
取りを行います。

◎調査には長い年月を要し
ます。市民の皆様のご理
解とご協力をお願いします。



7月は「社会を明るくする運動」の強調月間です!!

問 福祉事務所福祉総務係 ☎内線189

『社会を明るくする運動』は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と犯罪や非行をした人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な明るい地域社会を築くための全国的な運動です。

本年は、「**犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ**」強調月間とし、安全で安心して暮らせる明るい社会づくりを目指して、地域に根差した運動を展開します。

犯罪のない明るい社会の実現のため、市民皆様のご理解とご協力をお願いします。

【この運動が目指すこと】

- ①犯罪や非行を防止し、安全で安心して暮らすことのできる明るい地域社会を築くこと
- ②犯罪や非行をした人が再び犯罪や非行をしないように、その立ち直りを支えること

【この運動において力を入れて取り組むこと】

- ①犯罪や非行をした人の立ち直りを支え、再犯を防止することの大切さや、更生保護を、広く知ってもらい、理解を深めてもらうための取り組み
- ②保護司、更生保護女性会会員等の更生保護ボランティアのなり手を増やすための取り組み
- ③犯罪や非行の防止や、犯罪や非行をした人の立ち直りには様々な協力の方法があることを示し、多くの人に支え手として加わってもらうための取り組み
- ④民間協力者と地方公共団体と国との連携を強化しつつ、犯罪や非行をした人が、仕事、住居、教育、保健医療・福祉サービスなどに関し必要な支援を受けやすくするためのネットワークをつくる取り組み
- ⑤犯罪や非行が起こらないよう、若い人たちの健やかな成長を期する取り組み